

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 ・当該外国投資法人において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年12月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益配分方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型



第4期（決算日：2015年12月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型」は、去る12月28日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-759311

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	10
◇お知らせ	10

投資対象ファンドのご報告

◇QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	12
◇マネー・プール マザーファンド	17

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	騰 落 率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	—	—	—	—	16,340
1期(2012年12月27日)	9,592	0	△ 4.1	0.2	—	97.0	8,353
2期(2013年12月27日)	10,450	0	8.9	0.5	—	97.0	3,136
3期(2014年12月29日)	12,012	0	14.9	0.0	—	97.1	1,522
4期(2015年12月28日)	12,047	0	0.3	0.0	—	97.0	1,760

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2014年12月29日	12,012	—	—	0.0	—	97.1
12月末	12,091		0.7	0.0	—	97.1
2015年1月末	12,500		4.1	0.0	—	97.1
2月末	12,339		2.7	0.0	—	97.0
3月末	12,621		5.1	0.0	—	97.0
4月末	12,663		5.4	0.0	—	97.0
5月末	12,192		1.5	0.0	—	94.4
6月末	11,916		△0.8	0.0	—	97.0
7月末	12,187		1.5	0.0	—	97.0
8月末	12,110		0.8	0.0	—	97.0
9月末	12,063		0.4	0.0	—	97.0
10月末	11,909		△0.9	0.0	—	94.7
11月末	12,217		1.7	0.0	—	97.1
(期 末)						
2015年12月28日	12,047		0.3	0.0	—	97.0

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

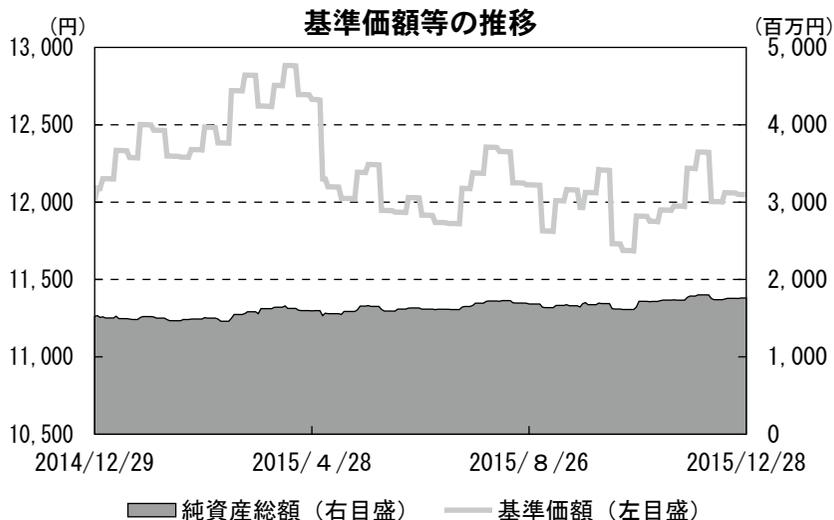
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第4期：2014/12/30～2015/12/28）

基準価額の動き 基準価額は期首に比べ0.3%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	短期金利やエネルギー価格の変動などが、基準価額にプラスに寄与しました。
下落要因	株式指数や為替市場の変動などが、基準価額にマイナスに作用しました。

投資環境について

（第4期：2014/12/30～2015/12/28）

◎株式市況

- ・世界の株式市場は欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和政策などから2015年の前半は堅調だったものの、中国株の下落や中国の経済成長の鈍化に対する懸念などから8月に大きく下落し、その後10月にかけて反発しました。その結果、期を通してみると世界の株式市場はほぼ横ばいとなりました。

◎債券市況

- ・ECBが追加の量的金融緩和政策を示唆したことなどから2015年10月に欧州の金利は低下しました。一方、米国では米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ見通しから10月以降、短期金利は上昇しました。米国の長期金利は2015年の前半に上昇し、その後低下する局面もあったものの、再び上昇しました。

◎商品市況

- ・原油市場は2015年の前半は上昇する局面もあったものの、需給関係の悪化などを受けて7月から8月半ばに大きく下落しました。8月末に反発したもののその後再び下落し、期を通してみると下落しました。

◎為替市況

- ・日米欧の金融政策の違いなどから、期を通してみると米ドルは対ユーロ、対円ともに上昇（ドル高）しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはおおむね0%以下で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型＞

- ・当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
- ・期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）を97.0%組み入れています。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ、上昇しました。

＜Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）＞

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分はポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。なお、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・前記のような運用の結果、株式指数や為替市場の変動などがマイナスに作用したものの、短期金利やエネルギー価格の変動などがプラスに寄与し、基準価額のプラス要因となりました。

＜マネー・プール マザーファンド＞

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどにより、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2014年12月30日～2015年12月28日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,047

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

<Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）>

◎今後の運用方針

（当記載は、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dの資料を基に、三菱U F J国際投信が作成したものです。）

- ・Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

マネージド・フューチャーズ戦略

- ・主として世界中の先物及び先物取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

- ・世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年12月30日～2015年12月28日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	149円	1.217%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間日数}}$
(投信会社)	(66)	(0.539)	当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供 等の対価 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等 の対価
(販売会社)	(79)	(0.646)	
(受託会社)	(4)	(0.032)	
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合計	150	1.228	
期中の平均基準価額は、12,234円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2014年12月30日～2015年12月28日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	千口 383 (0.5374)	千円 491,709 (950)	千口 222	千円 284,700

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2014年12月30日～2015年12月28日）

利害関係人との取引状況

<国際オルタナティブ戦略 Q T X－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型>
該当事項はございません。

<マネー・プール マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年12月28日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首 (前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)		1,183	1,345	1,707,410	97.0
合	計	1,183	1,345	1,707,410	97.0

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首 (前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・プール	マザーファンド	99	99	100

○投資信託財産の構成

(2015年12月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,707,410	% 96.2
マネー・プール マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	66,667	3.8
投資信託財産総額	1,774,177	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年12月28日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,774,177,415
コール・ローン等	66,326,484
投資証券(評価額)	1,707,410,751
マネー・プール マザーファンド(評価額)	100,059
未収利息	100
前払金	340,021
(B) 負債	13,856,684
未払解約金	3,374,000
未払信託報酬	10,390,794
その他未払費用	91,890
(C) 純資産総額(A - B)	1,760,320,731
元本	1,461,159,717
次期繰越損益金	299,161,014
(D) 受益権総口数	1,461,159,717口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,047円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,267,709,788円
 期中追加設定元本額 614,522,259円
 期中一部解約元本額 421,072,330円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,047円です。

②分配金の計算過程

項 目	2014年12月30日～ 2015年12月28日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	117,253,693円
分配準備積立金額	181,907,321円
当ファンドの分配対象収益額	299,161,014円
1万口当たり収益分配対象額	2,047円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
 ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
 ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○損益の状況 (2014年12月30日～2015年12月28日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,247
受取利息	31,247
(B) 有価証券売買損益	12,585,492
売買益	22,172,630
売買損	△ 9,587,138
(C) 信託報酬等	△ 19,925,045
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 7,308,306
(E) 前期繰越損益金	181,907,321
(F) 追加信託差損益金	124,561,999
(配当等相当額)	(111,563,590)
(売買損益相当額)	(12,998,409)
(G) 計(D + E + F)	299,161,014
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	299,161,014
追加信託差損益金	124,561,999
(配当等相当額)	(111,563,590)
(売買損益相当額)	(12,998,409)
分配準備積立金	181,907,321
繰越損益金	△ 7,308,306

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年12月28日現在)

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体 (978, 385千口) の内容です。

国内公社債

(A) 国内 (邦貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	696,500 (300,000)	699,411 (300,013)	71.1 (30.5)	— (—)	— (—)	— (—)	71.1 (30.5)
合 計	696,500 (300,000)	699,411 (300,013)	71.1 (30.5)	— (—)	— (—)	— (—)	71.1 (30.5)

(注) () 内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) B B 格以下組入比率の計算においては、Moody's と S & P の格付けのうち高いものを採用しています。

(B) 国内 (邦貨建) 公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第566回国庫短期証券	—	200,000	200,003	2016/2/1
第579回国庫短期証券※	—	100,000	100,010	—
第98回利付国債 (5年)	0.3	100,000	100,163	2016/6/20
第277回利付国債 (10年)	1.6	67,900	68,146	2016/3/20
第279回利付国債 (10年)	2.0	28,600	28,729	2016/3/20
第280回利付国債 (10年)	1.9	50,000	50,458	2016/6/20
第282回利付国債 (10年)	1.7	150,000	151,900	2016/9/20
合 計		696,500	699,411	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型が投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）
形態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。
運用方針	<p>ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。</p> <p>【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先物取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。</p> <p>【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。</p>
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
アレンジャー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設定日	2012年4月12日
会計年度	毎年1月1日から12月31日まで

※Q T X W C M G D P F u n d は日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n d への直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N G を通じて行われます。

QTX WCM GDP FUND

包括利益計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

2014年12月31日に終了した年度
(米ドルで表示)

投資損益	
<i>純損益を通じて公正価値で測定する金融資産</i>	
<i>当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定</i>	
QTX WCM GDP TRADINGに係る未実現損益の純変動	2,421,580
QTX WCM GDP TRADINGに係る実現損益 (純額)	4,968,799
<i>売買目的保有の金融商品</i>	
デリバティブに係る未実現損益の純変動	676,662
デリバティブに係る実現損益 (純額)	(3,044,387)
<i>貸付金および債権</i>	
維持管理料の割り戻し	117,524
受取利息	2,003
為替に係る未実現損益の純変動	8,230
為替に係る実現損益 (純額)	6,853
投資純損益	5,157,264
営業費用	
成功報酬	1,621,487
運用受託報酬	440,220
市場への接続費用	219,856
ファンド管理報酬	115,912
その他の費用	136,667
	2,534,142
営業活動による純資産の増減 (純額)	US\$ 2,623,122

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

QTX WCM GDP TRADING*

2014年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益	
<i>純損益を通じて公正価値で測定する金融商品</i>	
<i>売買目的保有の金融商品</i>	
株式投資に係る未実現損益の純変動	(5,447,129)
株式投資に係る実現損益（純額）	13,638,376
デリバティブに係る未実現損益の純変動	1,151,619
デリバティブに係る実現損益（純額）	(2,495,856)
受取配当金（源泉徴収税控除後）	1,207,081
<i>貸付金および債権</i>	
為替に係る未実現損益の純変動	(35,032)
為替実現損益（純額）	(21,696)
受取利息	13,500
その他の収益	152
投資純損益	8,011,015
営業費用	
支払利息	252,742
支払配当金	218,118
支払委託手数料	116,454
その他の費用	33,322
	620,636
営業活動による純資産の増減（純額）	US\$ 7,390,379

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「QTX WCM GDP TRADING」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 投資概況

QTX WCM GDP FUND

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2014年12月31日)
Investment in Trading Fund	95.22%	31,304,000
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.00%	880
Total financial assets at fair value	95.22%	US\$ 31,304,880
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.57%	187,235
Total financial liabilities at fair value	0.57%	US\$ 187,235

QTX WCM GDP TRADING

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2014年12月31日)
Equity investments	99.88%	31,267,096
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.09%	26,873
Futures contracts	4.60%	1,441,542
Total financial assets at fair value	104.57%	US\$ 32,735,511
Equity investments sold short	11.27%	3,527,758
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.28%	88,003
Futures contracts	3.57%	1,118,872
Total financial liabilities at fair value	15.12%	US\$ 4,734,633

投資概況 (続き)

QTX WCM GDP TRADING

為替のエクスポージャー

(2014年12月31日現在)

December 31, 2014	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	26,409	—	26,409
Brazilian real	15,823	—	15,823
British pound	15,287	(5,263)	10,024
Canadian dollar	241,068	(235,013)	6,055
Czech koruna	—	(3)	(3)
Denmark krone	—	(632)	(632)
Euro	233,952	(2,888)	231,064
Hong Kong dollar	64,492	—	64,492
Hungarian forint	11,761	(1,850)	9,911
Israeli shekel	93	—	93
Japanese yen	99,405	—	99,405
Malaysian ringgit	55	—	55
New Zealand dollar	—	(2,827)	(2,827)
Norwegian krone	23,547	(26,030)	(2,483)
Polish zloty	16,516	(3,888)	12,628
Singapore dollar	5,728	—	5,728
South African rand	6,580	(3,090)	3,490
South Korean won	55,138	—	55,138
Swedish krona	51,754	(43,920)	7,834
Swiss franc	10,944	(11,481)	(537)
Turkish lira	18,561	(8,190)	10,371
US\$	897,113	(345,075)	552,038

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2014年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 15-June 15	13	US\$ 2,260,040	26,873
Commodity futures contracts	Jan 15-May 15	122	7,164,314	482,096
Currency futures contracts	Mar 15	171	18,850,944	275,699
Index futures contracts	Jan 15-Mar 15	54	4,182,482	103,338
Interest rate futures contracts	Mar 15-Mar 18	577	146,911,863	580,409
CFDs	Current	122	2,240,510	—
			US\$	1,468,415

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 15-Apr 15	12	US\$ 5,450,458	88,003
Commodity futures contracts	Jan 15-May 15	95	3,849,168	271,236
Currency futures contracts	Mar 15	1	77,420	730
Index futures contracts	Mar 15	235	22,236,228	750,477
Interest rate futures contracts	Mar 15-Sep 17	349	85,257,023	96,429
CFDs	Current	53	674,371	—
			US\$	1,206,875

マネー・プール マザーファンド

《第12期》決算日2015年7月14日

〔計算期間：2015年1月15日～2015年7月14日〕

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第12期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な投資対象	わが国の公社債
主な投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰落	中率			
8期（2013年7月16日）	円 10,039	% 0.0	% 91.6	% —	百万円 1,854
9期（2014年1月14日）	10,042	0.0	90.4	—	1,437
10期（2014年7月14日）	10,045	0.0	93.4	—	1,284
11期（2015年1月14日）	10,047	0.0	84.8	—	1,179
12期（2015年7月14日）	10,049	0.0	85.2	—	821

（注）債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期 首) 2015年 1月14日	円 10,047	% —		% 84.8	% —
1月末	10,048	0.0		90.5	—
2月末	10,048	0.0		92.1	—
3月末	10,048	0.0		89.7	—
4月末	10,048	0.0		95.9	—
5月末	10,048	0.0		91.7	—
6月末	10,049	0.0		88.7	—
(期 末) 2015年 7月14日	10,049	0.0		85.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第12期：2015/1/15～2015/7/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.0%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

利子等収益が積みあがったことが、基準価額にプラスに寄与しました。

投資環境について

(第12期：2015/1/15～2015/7/14)

▶ 国内短期金融市場の動向

〈無担保コール翌日物金利の推移〉

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

〈国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移〉

- ・2015年1月中旬以降の国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、おおむね0%以下で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。
そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年1月15日～2015年7月14日)

当期に発生した費用はありません。

○売買及び取引の状況

(2015年1月15日～2015年7月14日)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国債証券	券	187,906,143	188,206,234

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

○主要な売買銘柄

(2015年1月15日～2015年7月14日)

公社債

国内の現先取引のみであるため記載がありません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月15日～2015年7月14日)

利害関係人との取引状況

区分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
現先取引(公社債)	百万円 187,906	百万円 —	% —	百万円 188,206	百万円 —	% —

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額(A)		—千円
うち利害関係人への支払額(B)		—千円
(B) / (A)		—%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

○組入資産の明細

(2015年7月14日現在)

国内（邦貨建）公社債

(1) 国内（邦貨建）公社債

決 算 期 区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	700,000 (700,000)	700,138 (700,138)	85.2 (85.2)	— (—)	— (—)	— (—)	85.2 (85.2)
合 計	700,000 (700,000)	700,138 (700,138)	85.2 (85.2)	— (—)	— (—)	— (—)	85.2 (85.2)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) —印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別

決 算 期 銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
第541回国庫短期証券※	—	100,000	100,000	—	
第543回国庫短期証券※	—	600,000	600,138	—	
合 計	—	700,000	700,138		

(注1) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注2) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2015年7月14日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 700,138	% 84.6		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	127,620	15.4		
投 資 信 託 財 産 総 額	827,758	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	827,758,933
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	127,620,152
公 社 債(評価額)	700,138,600
未 収 利 息	181
(B) 負 債	6,266,321
未 払 解 約 金	6,266,321
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	821,492,612
元 本	817,500,936
次 期 繰 越 損 益 金	3,991,676
(D) 受 益 権 総 口 数	817,500,936口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,049円

○損益の状況 当期 (2015年1月15日~2015年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	184,600
受 取 利 息	184,600
(B) 当 期 損 益 金(A)	184,600
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,564,017
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	21,247,829
(E) 解 約 差 損 益 金	△23,004,770
(F) 計 (B+C+D+E)	3,991,676
次 期 繰 越 損 益 金(F)	3,991,676

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (D) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・ (E) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は1,174,422,749円、期中追加設定元本額は4,420,909,775円、期中一部解約元本額は4,777,831,588円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.0049円です。

(注4) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は以下の通りです。

ファンド名	当期末元本額
世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし) 2014-02	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジなし) 2014-04	99,562
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523
新興国公社債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	2,328,870
新興国公社債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	200,000
新興国公社債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	1,307,246
新興国公社債オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	93,548
新興国公社債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	11,291,577
新興国公社債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,989
新興国公社債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅡ(年2回決算型)	7,420,727
世界投資適格債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	5,154,901
世界投資適格債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	49,966
世界投資適格債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	995,161
世界投資適格債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	2,234,005
世界投資適格債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	28,349
世界投資適格債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875
世界投資適格債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅡ(年2回決算型)	6,987,698
日本株 2.5プルベア・オープンⅡ(マネー・プール・ファンドⅣ)	381,773,157
マネー・プール・ファンドⅣ	1,146,607
マネー・プール・ファンドⅥ	178,814,624
マネー・プール・ファンドⅦ(適格機関投資家専用)	976,707
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,314,823
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	119,857
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	769,078
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	15,855,020
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,977
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	554,401
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)資源国通貨バスケットコース(毎月決算型)	1,608,548
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	19,925
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅤ(年2回決算型)	112,249,885
米国高利回り社債ファンド(毎月決算型)	999
米国高利回り社債・円ファンド(毎月決算型)	999
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド(毎月決算型)	999
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)分配型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)分配型	99,561
トレンド・アロケーション・オープン	997,308
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	99,682
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	99,682

ファンド名	当期末元本額
国際オーストラリア債券オープン(毎月決算型)	997
リスク・パリティαオープン	995
欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり	9,963
欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	39,849
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	996,215
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	996,215
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602
国際アジア・リート・ファンド(通貨選択型)マレーシア・リンギットコース(毎月決算型)	99,602
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)円コース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(1年決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(毎月決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)中国元コース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(1年決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(1年決算型)	9,986
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅢ(1年決算型)	44,147,576
国際・キャピタル日本株式オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドⅤ(年2回決算型)	29,025,605
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジあり)	4,979
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジなし)	4,979
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース(毎月決算型)	99,562
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース(年2回決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,957
優良証券プラス・オープン 為替プレミアムコース(年2回決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース(年2回決算型)	9,956
優良証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース(年2回決算型)	9,956
米国成長株オープン	996
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース(毎月決算型)	9,953
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース(毎月決算型)	9,953
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	9,953
合計	817,500,936

【お知らせ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。